

事業名：分別・資源化等啓発事業

廃棄物対策課 主査（資源化）

政策	01 環境と調和する都市の構築							
施策	01 循環型社会の形成							
基本事業	02 ごみ資源化の推進							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

世帯

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・ごみの減量化・資源化の推進に向けた啓発のため、出前講座を開催する。
- ・ごみ・資源物の分別、排出が正しく行なわれるように「分別の手引き」、「収集日カレンダー」を作成し全世帯に配布する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民に江別市の排出ルールを理解してもらい、ごみを適正に排出してもらう。
- ・市民の減量化・資源化についての意識を高める。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	世帯数	世帯	53,923	54,581	54,921	54,921
対象指標2						
活動指標1	ごみ・資源物の収集日カレンダー配布枚数	枚	85,000	86,000	105,000	—
活動指標2	講習会（出前講座等）開催回数	回	17	17	23	—
成果指標1	講習会（出前講座等）参加人数	人	496	530	610	—
成果指標2						
事業費(A)		千円	3,153	2,343	3,581	3,111
正職員人件費(B)		千円	16,052	16,032	12,501	12,518
総事業費(A+B)		千円	19,205	18,375	16,082	15,629

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみとリサイクルに係る出前講座の開催 ・ごみ・資源物の収集日カレンダー等啓発広報物への有料広告掲載及び全世帯へ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼及びイベント来場者粗品 53千円 ・収集日カレンダー及び啓発広報物作成経費 3,459千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である	理由 根拠	ごみの減量化・資源化の啓発は、市の廃棄物処理を円滑に進めるため、ごみの分別排出のルールを周知するとともに、市民の意識・行動の変革を促すものであるから、行政が中心となっていくことは妥当である。
妥当性が低い		

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい	理由 根拠	ごみの排出ルールを正しく理解してもらい、減量化・資源化の意識啓発を図る本事業は、ごみ資源化を進めるための根幹となるものであり、貢献度は大きい。
貢献度ふつう		
貢献度小さい		
基礎的事務事業		

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている	理由 根拠	ごみの適正排出及び減量化・資源化に不可欠な「分別の手引き」、「収集日カレンダー」の定期発行により一定の成果は出ていると判断されるが、より多くの市民にごみの減量化の必要性を理解してもらうため、出前講座のさらなる充実に向け検討を要する。
どちらかといえば上がっている		
上がらない		

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大	理由 根拠	ごみの適正排出及び減量化・資源化について理解を深めてもらうため、出前講座の参加人数の増加に向け工夫、啓発を行う余地はある。
成果向上余地 中		
成果向上余地 小・なし		

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

ある	理由 根拠	「分別の手引き」について、市民にとってより分かり易い内容となるよう心がけつつ、一定の範囲内での有料広告を掲載することにより、誌面の充実と経費の節減を図ることは可能である。
なし		